

(第2号様式)

那覇西第1904号
令和5年3月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇西高等学校
校長 名 幸 哲
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月19日(火) 16:00	場所	進路学習室	出席 状況	3名中2名出席
第2回	日時	12月22日(木) 15:00	場所	進路学習室	出席 状況	3名出席
第3回	日時	3月16日(木) 16:00	場所	進路学習室	出席 状況	3名出席

2 学校評議員に求めた事項

本校経営方針に基づいた、教務部、進路指導部、生徒指導部、国際人文科、体育科、1学年、2学年、3学年、その他学校全体についての成果と課題について各学期別に報告し、改善策や多角な視点からの意見・助言等を求めた。その他、学校評議員による授業視察を実施して意見や助言を得て、授業の改善を目指す。

3 学校評議員の意見

- ①生徒は、挨拶や清掃などにしっかり取り組んでおり、先生方の指導の成果が現れていると感じる。
- ②進路学習室の利用者は昨年度に比べて増えているとのことであるが、学年によっては、成績上位層が減少している。学習量(時間)等の確保を進めるなど、進路実現に向けて粘り強く指導を継続してほしい。
- ③新型コロナウイルスによる様々な制約が無くなる中、例年通り学校行事を開催していると聞いて安心した。
- ④学校評価の中で保護者から「分からない」とする意見の割合が高いことについては、資料の在り方等保護者のニーズをどのように満たすことが出来るのかなど、(関心を高める)工夫も必要だと思う。
- ⑤課題が生じた場合、それをフローチャート化し、課題の精査と対策を検討する手法もある。

4 学校運営に反映した事項

- ①進路指導部とHR担任が連携し、進路の早期決定と学力不振を理由とした安易な進路変更をせず、日々の学習量の確保の必要性等を学年集会や進路講話で説明した。
- ②新型コロナ感染状況を踏まえつつ、例年通り学校行事が開催できるよう全職員で協力し、実施した。
- ③早朝講座の在り方については、各科の特性を踏まえた内容の充実を図った。特に特進クラスについては、毎日実施できるよう調整し、より多くの生徒の進路実現が図れるよう努めた。

5 課題その他

- ①プール(底の塗装が剥がれ、コンクリートが剥き出しになる)や陸上設備など施設の老朽化が進み、生徒が怪我をするケースがある。施設整備を進めつつ、生徒の安全管理をしっかりと行っていく必要がある。
- ②Wi-Fi等通信環境が改善されつつある。授業や行事等において学習端末をより積極的に活用していくことを授業改善の中で検討する必要がある。
- ③1人1台学習端末の導入が進む中、端末の利用方法に係る生徒指導上の課題やネットに関連するトラブルが起こることも十分に予見される。情報モラル教育の実施についても計画的に進めていく。